

## 編輯室の内外

◇四十年來の暑さのレコード、九十七度六分と云ふ暑さも出た。暑熱に茹だるやうな身體を煎り附けるやうな、トタン屋根の下に納めて、醒観してゐるのは可成りに苦痛だつた。毎々御引合に出る不味いアイスクリームを甜めた位ひぢや何の足しにもならない。サリとアルベインテントを背負つて半煮え飯を噛つたり、モダーンガールに交つて、鹹い水を嘗めたりする程の金もないが第一暇がない、眞白く埃を被つてイデケ切つた庭木に暑さをせき立てるやうに油蟬が啼く、編輯室の暑さは真正正銘百度以上に上つてゐるが何うにもならない。

ついに涼しさが、暑熱を忘れしめるやうになつた。

◇八月十日から開催した道路職員講習會は、遠く朝鮮、臺灣からも講習員が上京せられて、百四十人に上る大盛況であつた、折柄の炎暑を物とせず、西日の遠慮なく射し込む社會局の大講堂で、一言一句も聞き洩らさじと傾聽する講習員の眞摯な態度は、夏休み時を當て込むありふれた講習會、居眠り競争の講習會とは全然趣を異にして、逆り出る智識慾から切實な質問を發して講師の心臓を寒がらしきたことは一日幾度あつたらう。講義する人、聽く人、渾然一致して路政への精進は、一種云ふべからざる敬虔の念を起さしめた。

東京市麹町區大手町一丁目内務省内  
東京市小石川區諏訪町五十六  
行届かぬことばかりで、懨不滿であつたらうと思つてゐる所へ、此うした澤山の體状に接して恥怩たらざるを得ない、茲にお詫びの御挨拶を申述べて筆を描く。

本 號 定 價 五拾 錢  
一ヶ年 分 金 六 圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内  
東京市小石川區諏訪町五十六  
發行 所 法人 道 路 改 良 會

編 著 者 上 山 陸 造

印 刷 所 常 磐 印 刷 所

印 刷 者 堀 江 關 武